

## 私の留学体験記

広島県立安芸府中高等学校 1年 藤井 大和 (ふじい やまと)

留学期間 平成31年 3月 2日～平成31年 3月 15日 (14日間)

留学先 メリノール校 (ハワイ州, アメリカ合衆国)

僕はこの研修で、日本とハワイの生活の相違点について研究しました。僕がこのテーマを選んだ理由は、ハワイに滞在中、日本の普段の生活で当たり前のことがハワイで驚かれたりして、そのことに興味を持ったからです。

まず、ホームステイ中の食事です。日本では、“肘をテーブルについてはいけない” “お椀を持って食べる” “いただきます ごちそうさまを言う” などといったマナーがあります。しかし、僕がホームステイした家庭はアジア系でしたが、そういったマナーはなく、気軽に食事をしていました。僕は食前食後のあいさつがないのに慣れませんでした。あと、食べ物の量が多かったのも、国の違いだと思いました。僕がホストファミリーと行ったハンバーガーショップはハンバーガーのサイズがS, M, Lではなく、BIG, BIGGER, BIGGESTと表されていました。実際、どれも大きかったです。そして、意外と日本食を食べることができました。

次に学校生活の違いです。メリノール高校は安芸府中高校と比べて、校則が緩く自由でした。生徒のスマートフォンやゲーム機の持ち込みが許されていることが驚きでした。そして、僕が安芸府中高校の校則を説明するとメリノール高校の生徒も驚いていました。さらに髪型や服装も自由でした。僕が普段着ている制服もメリノール高校の生徒から見たら、珍しかったようでした。あと学校の始まる時間と終わる時間がどちらも早かったです。午前8時に始まり、午後3時に終わるため、生徒は家族と過ごす時間や課外活動を大切にしているように思いました。授業スタイルの違いは、日本が教科書を使うのに対して、ハワイは一人一台パソコンを使っていて教科書は見かけませんでした。

次に僕が見つけた相違点は、買い物をするとき、日本だとレジに商品の入ったカゴごと台に置きますが、ハワイだと商品をひとつひとつカゴから出して、台に置かなければいけないことです。少し効率が良くないと思いました。あと、日本にあるセルフレジがありませんでした。また、ハワイの公衆トイレは日本とは違い個室のドアの下が数十センチ開いていました。外から見えるのではないかと心配しました。日本の方がプライバシーを確保されていて、いいなと思いました。

以上に述べたように、僕は日本とハワイの生活を比べてみて、相違点を多く発見しました。どちらも違うけれど双方に良い点があると思いました。まず日本では、ルールやマナーがあることによって、物の大切さに気づけると思いました。食前食後に何気なく言う“いただきます ごちそうさま”も食べ物に感謝するという思いに気づかされます。また、日本の学校の掃除をする習慣も大事だと思いました。メリノール高校では清掃員が掃除をしてくれますが、自分たちで掃除をすることによって自分たちの周りのものを大切にすることができます。そして、ハワイの良い点は気楽に生活できることです。学校を遅刻しても罰は無いし、日本の学校よりも早く終わるので、時間に追われないと思います。だから、自由な時間に自主的に勉強したり、趣味を楽しんだりすることができます。また、フラダンスやウクレレなどの文化を大切にしているところに感心しました。

今回の研修で、いろんな人と関わって、新たな価値観や生活を知ることができました。日本の良い点とハワイの良い点を取り入れてこれからの学校生活や人生に活かしていきたいと思います。